

予算特別委員会  
委員長 清水 健一



議長を除く議員23名で審議しました。  
2日間の予算審査で審議項目は93項目。

議長  
小嶋 隆



新年度予算については、施政方針との整合性や財政運営の健全性の審査、新規事業の概要説明や、議員間の情報共有が必要なため、予算特別委員会を設置し集中審議を行いました。

## ● 都市整備

### 原郷上野台線整備事業

- Q 予定事業が3つあるが、事業別の予算額は。
- A JR施行委託については13億1,141万9千円である。支障物件の切り回しについては、今年度契約締結した雨水管切り回しに係る令和5年度分の工事費が2億3,400万円。アプローチ修正設計は委託料として5,000万円計上している。

### 原郷上野台線整備事業補助金

- Q 国庫補助金1億3,114万円の詳細説明を。
- A 従来だと13億1,141万9千円の半額が国庫補助になり得るが、最近の国の動向で、満額交付決定をいただけない状況である。内部の財政計画上では、その3割程度を見込んでおり、予算上では更に厳しく20%で計算したため、50%×20%ということで1億3,114万円としている。

### 道路維持管理事業

- Q 高畑地内の排水ポンプ改修工事について、財源内訳を見ると地方債の起債によると思うが、国・県からの助成はないか。
- A 防災対策事業債の充当を予定している。国庫補助等も模索したが、該当するものがなく、起債を活用することとした。

## 予算審議 (特別委員会で集中審議)

## ● 総括

- Q 前年比、農林水産費がマイナス31.4%、土木費が前年に比べて38.4%増となった要因は何か。
- A 農林水産費については、パティオの工事進捗によるもの。大きな要因としては、前年度は電気設備や機械工事があったが、今年度はそのような工事がなかった。その他としては、ねぎサミット、収入保険の加入促進やGAPの関係など農業振興に資するため拡充した予算もあるが、減額の要因の方が大きく31.4%減となった。また、土木費については、大きな要因として原郷上野台線事業進捗によるもの。令和5年度については、線路下の工事が予定されるため、事業費が大きくなっている。加えて、中央土地区画整理事業については、物件補償費等が増となっているため、土木費を押し上げている。
- Q 自主財源について、令和4年度予算比較で6億3千万円の増を見込んでいるが、どのような内容か。
- A 要因については、市民税、固定資産税などの市税及び花園IC拠点プロジェクト土地貸付収入の増加。一方、保育料の無償化拡充による負担金や繰入金金の減少による結果、約6億3,500万円の増となった。

## ● 教育

### 小・中学校給食事業

- Q 食材価格の高騰による保護者負担軽減のための給食費の補助とあるが、その額はいくらか。
- A 現行の約10%に当たる額を価格上昇分と算定しており、小学校は合計2,981万円、中学校は約2,019万円である。

### 小学校健康・安全教育推進事業

- Q こども110番の家について。令和4年度は2,017件の登録があるとのことだが、居住中の確認はとれているのか？
- A PTA地区理事の方々にご協力を頂きながら、現状を把握している。

### ふっかちゃんヘルメットサポート事業

- Q 重さ対策や暑さ対策など考慮しているのか。
- A 登下校の荷物は、いわゆる置き勉を励行している。また、暑さ対策では、クールタオルの利用や必要に応じて水分補給を各学校で指導している。

## ● 福祉

### 深谷赤十字病院運営費補助事業

- Q 深谷赤十字病院の運営費補助がここ数年同額の理由は。
- A 埼玉県の救急救命センター運営事業補助金交付要綱に定める3分の1を上限に、県北8市町がそれぞれの負担割合に応じて助成を行っている。なお、負担割合については深谷赤十字病院の過去3年間の救急入院等の実績により3年に一度見直しを行っており、前回の見直しが令和3年度であるので、令和5年度までの3年間において補助金の額が同額となる。
- Q 放射線治療の装置整備の更新費用は深谷市単独で補助を行ったが、深谷赤十字病院の運営費補助と同様に、8市町で負担案分ができないか。
- A 放射線治療患者の約6割が深谷市民であること、深谷赤十字病院については、県北地域の二次、三次的な救急機能を担う他、市民病院的な側面も併せ持っていることから、補助金の支出は市民にとって有益であるので市単独で対応していく。

## 令和5年度深谷市当初予算7議案を集中審議

令和5年度深谷市議会第1回定例会は2月22日に開会し、3月17日までの24日間の日程で開かれました。深谷市議会では、新年度予算の議案を予算特別委員会へ付託し、委員会で集中審査を行っています。令和5年度予算については、小嶋議長を除く23名の議員で構成される予算特別委員会で審査しました。

令和5年度の一般会計当初予算は、540億7,137万5千円で、前年に比べ17億8,542万8千円(3.4%)の増額となりました。これは、川本複合施設建設事業やパティオ長寿命化工事の進捗に伴う予算が減額する一方、保育料の完全無償化や幼稚園・子ども館複合施設建設事業など、子育て支援に関する施策、また、原郷上野台線整備工事の進捗に伴う予算の増額など、将来のまちづくりに必要な事業を着実に推進するための経費を計上した結果、前年度比3.4%の増額となったものです。主な審議内容は、5ページから6ページのとおりです。

## 大きな事業が同時進行(令和5年度)

～「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」の実現に向けて～

### 私立保育施設運営事業 46億6,400万7千円



### 川本複合施設建設事業 2億4,089万8千円



川本複合施設のイメージ

### 常備消防車両購入事業 2億5,148万1千円



配備予定車両(支援車II型)

### 論語の里施設管理活用事業 1億8,715万円



渋沢栄一アンドロイドと映像などを組み合わせた展示体験(「中の家」母屋内)